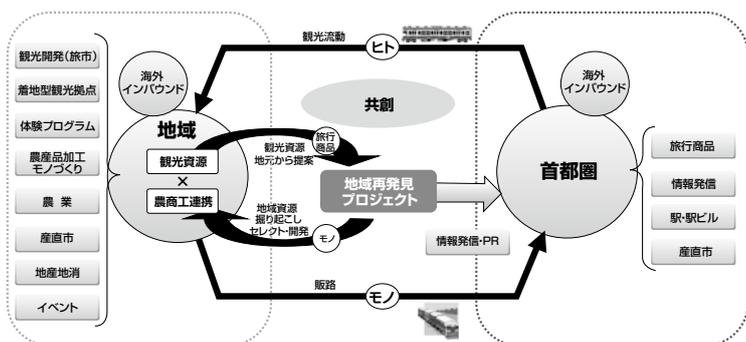


# 地域再発見プロジェクト

## 「地域再発見プロジェクト」とは

人口減少や少子高齢化、都市への一極集中が、地方の経済、文化、伝統、技術の存続を危うくする中において、JR東日本グループのさらなる発展のためには、地域がもつ魅力を高めることで、地域間の流動をつくり出していく必要があります。そのため、鉄道事業と生活サービス事業の横断プロ

ジェクト「地域再発見プロジェクト」を発足し、JR東日本グループと地域が役割を明確にしながるとともに知恵を絞る「共創」戦略のもと、人とモノの交流をはかることで首都圏と地方の間で大きな循環を生み出すことをめざし、さまざまな取組みを行っています。



### ○主な取組み

2009. 9	地域再発見プロジェクト発足
2010. 12	地域再発見プロジェクト「秋田」産直市開催（上野駅）
12	あおりシールド「工房」と「市場」の複合施設「A-FACTORY」開業
2011. 5	応援産直市開催（上野駅・秋葉原駅・大宮駅）
2012. 1	地産品ショップ「のもの」開業（上野駅）
1	NEW DAYS「のものコーナー」開始（9店舗）
2013. 9	6次産業化に向けた「のもの1-2-3」プロジェクト始動
2014. 3	地産品ショップ「のもの」秋葉原店開業
3	「三陸のものマルシェ」開催（秋葉原駅）
2014. 9	「十日町すこやかファクトリー」開業
9	「株JRとまとランドいわきファーム」会社設立
2015. 11	「のものキッチン池袋東口店」開業
2016. 1	「のもの居酒屋“かよひ路”上野店」開業
1	「株JR新潟ファーム」会社設立
3	「のものオリジナル商品「おやつTIMES」販売開始
4	「地域活性化物流LLP（有限責任事業組合）」設立

## 具体的な取組み

### ○地産品ショップ『のもの』

地域の食文化を通じて、首都圏のお客さまに新たな驚きや発見、喜びを提供するブランドとして拡大していき、地域の活性化に貢献します。



もの上野店



もの秋葉原店 (c)Shinichi Sato



ものキッチン池袋東口店



もの居酒屋“かよひ路”上野店

### ○おやつTIMES

地産品ショップ「のもの」を通じて出会った地域の生産者と連携して女性に嬉しい食べやすいサイズのお菓子を開発しました。高速バスのトランク等を活用して輸送コストを削減する「地域活性化物流LLP」を設立するなど、地産品流通の課題を解決し、首都圏の地産品マーケットの拡大を図ります。



### ○十日町すこやかファクトリー



東日本地域の素材を使用した菓子等の通常の焼き菓子商品に加え、十日町市の特産品である魚沼コシヒカリの米粉を使った、卵、乳、小麦を使用しない食物アレルギー対応ケーキを製造しています。

### ○JRとまとランドいわきファーム



福島県いわき市の先進農家と連携した、太陽光利用型植物工場トマトを生産する農業法人です。

2016年4月に栽培を開始し、初夏から収穫されるトマトを首都圏のJR東日本グループ店舗で活用するほか、植物工場に隣接する6次産業化施設で直売・加工し、食文化の創出や地域の魅力向上をめざします。

### ○のもの1-2-3プロジェクト

地域の魅力ある素材を掘り起こし（1次産業）、優れた加工技術等（2次産業）を組み合わせ、お客さま視点を踏まえた商品開発と販売（3次産業）を推進する、ものづくりプロジェクトです。



ナチュラルコスメ「megumi to nagomi（めぐみとなごみ）」



ほしも農家の白プリン



天空かぼちゃプリン



仙台きなこシリーズ